

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 24 日 (2019.10.24)

【公開番号】特開 2018-46350 (P2018-46350A)

【公開日】平成 30 年 3 月 22 日 (2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-011

【出願番号】特願 2016-178241 (P2016-178241)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/434 (2011.01)

H 0 4 N 21/8355 (2011.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 21/434

H 0 4 N 21/8355

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 5/93 Z

G 1 1 B 20/10 D

G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 9 日 (2019.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

解像度が水平 1 9 2 0 画素 × 垂直 1 0 8 0 画素を超えるコンテンツ（以下、「2 K 超コンテンツ」とする）を放送するデジタル放送の前記 2 K 超コンテンツを受信可能な放送受信装置であって、

前記デジタル放送の前記 2 K 超コンテンツを受信可能な放送受信部と、

前記放送受信部で受信した前記デジタル放送の前記 2 K 超コンテンツを 2 K 超コンテンツのまま出力可能なインタフェースを備え、

前記放送受信部で受信した前記 2 K 超コンテンツが、前記デジタル放送において制約条件なしにコピー可かつインタフェース出力での暗号化が必要ないことを示す状態で伝送されたコンテンツであるとき、当該コンテンツが H D R コンテンツであっても S D R コンテンツであっても、当該コンテンツを 2 K 超コンテンツのまま前記インタフェースを介して D T C P 2 によるコンテンツの保護を行って出力するときに D T C P 2 の H D R フラグを 0 として出力する、ことを特徴とする、放送受信装置。